

郵便事業株式会社

## カーボンオフセット寄附金助成概要



2009.05.25 郵便事業会社  
経営企画部

## カーボンオフセットとは・・・？

自らの努力だけではどうしても削減しきれない二酸化炭素(Carbon dioxide)等の温室効果ガスを、地球温暖化防止を推進する世界各地のクリーンエネルギー事業等を支援し、CO2を削減することにより打ち消す(Offset)仕組みのことです。

## カーボンオフセットはがき購入でできること

売価55円でお客様からは5円の寄附をお預かりいたします。郵便事業会社からも同額の寄附を行いますので計10円の寄附により、1枚当たり約2.6kgのCO2の排出権を取得・償却できます。(平成20年度実績)  
はがき10枚の購入で約26kgのCO2をオフセットできることとなり、これは1人あたりの排出量の約1週間分に当たります。これによりはがきの購入者はごく身近で簡単な方法で自分の排出している温室効果ガスをオフセットできます。



平成20年用年賀および  
平成21年用かもめ一  
売価55円(寄附金5円)

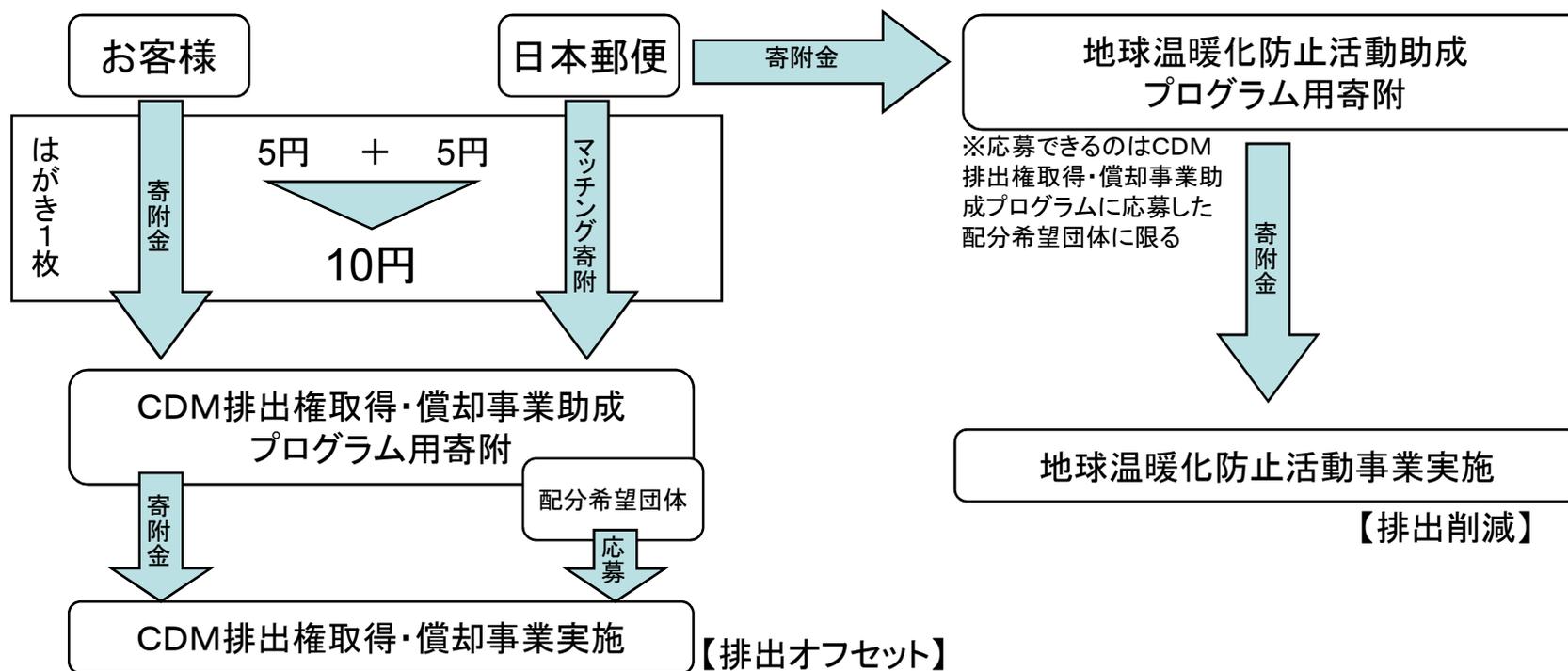
**郵便事業会社の取組み：寄附金助成  
(CDM排出権取得・償却事業助成プログラム)  
【排出オフセット】**

※CDM事業：先進国が開発途上国に対し技術支援・資金提供を行い、事業実施で削減できた排出量のうち一定量を支援元の排出量削減分の一部に充当できる制度

はがきの購入1枚につき5円の寄附と、同額の寄附を郵便事業会社がマッチングすることで1枚当たり計10円の寄附が行われます。

**郵便事業会社の取組み：寄附金助成  
(地球温暖化防止活動助成プログラム)  
【排出削減】**

お客様からの寄附金を活用させていただくCDM排出権取得・償却助成プログラムとは異なり、日本郵便が独自に拠出した寄附金を森林育成や二酸化炭素削減に結びつく活動・啓発等地球温暖化の防止につながる活動についての助成を行っています。



平成20年度カーボンオフセット年賀寄附金申請及び配分状況について

申請		配分			
件数	金額	件数	金額	寄附金	マッチング寄附
3件	97,000万円	3件	14,984万円	7,464万円	7,520万円

配分決定事業別リスト

都道府県	団体名称	CDMプロジェクト名	概要	金額
東京都	特定非営利活動法人 環境リレーションズ研究所	①「貴州 Nangtong 12MW hydro Power」 ②「Korea Gangwon Wind Wind Park Project」	①小規模水力発電事業 ②風力発電事業	4,995万円
東京都	有限責任中間法人 ロハスクラブ	「Koblitz-Piratini energia S.A.-Biomass Power Plant-Small CDM Project」	火力発電事業	4,495万円
三重県	財団法人 国際環境技術移転研究センター (ICETT)	「Antonio Moran Wind Power Plant Project in Patagonia Region, Argentina」	風力発電事業	5,495万円

## CDM排出権取得・償却事業助成

JP・地球温暖化防止助成事業(平成20年度)

### アルゼンチンにおける風力発電事業

Antonio Moran Wind Power Plant Project  
in Patagonia Region, Argentina

国連認証: UNFCCC No,0130

助成先団体名: ICETT(財団法人国際環境技術移転研究センター)



年間26,928トンのCO2を削減

化石燃料利用による発電に比べて、CO2排出がほぼゼロになる風力発電。この自然の力を発電に利用することで、地球温暖化防止に貢献しています。

風力発電は、CO2以外の大気汚染物質を排出することもなく、地域の環境にとってもやさしいプロジェクトです。また本プロジェクトは今後のアルゼンチンの風力発電事業発展のための貴重な技術移転の機会となりました。

JP・地球温暖化防止助成事業(平成20年度)

### ブラジルにおける木質バイオマス発電事業

Koblitz・Piratini Energia S.A. Biomass Power Plant Project  
in Rio Grande do Sul, Brazil

国連認証: UNFCCC No,0228

助成先団体名: 有限責任中間法人ロハスクラブ



年間172,763トンのCO2を削減

計画的森林育成が行われている森林を土台として営まれている製材業から廃出される木材残渣(木くずやおがくず等)を回収し、燃料とする木質バイオマス発電は、化石燃料に比べてCO2を排出しない再生可能エネルギーとして、地球温暖化防止に貢献しています。

また、これまで放置されていた木材残渣物は、CO2の21倍の濃度の温室効果ガスであるメタンを放出していましたが、本事業による回収とエネルギー資源化により、この分の排出量削減にも貢献しています。

## CDM排出権取得・償却事業助成

## 地球温暖化防止活動助成

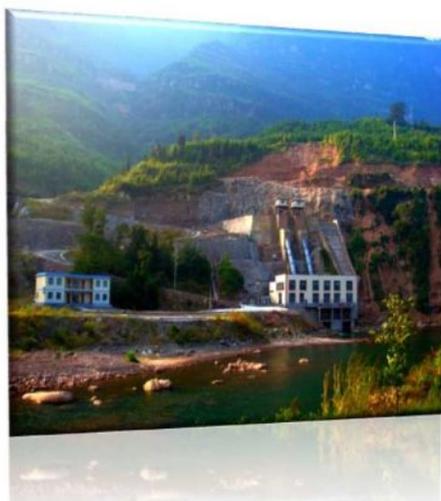
JP・地球温暖化防止助成事業(平成20年度)

### 中国における小規模水力発電事業

Yangjiawan 9MW Hydro Power Project  
in Guizhou Province, China

国連認証: UNFCCC No.1193

助成先団体名: 特別非営利活動法人 環境リレーションズ研究所



年間27,958トンのCO2を削減

化石燃料を利用した発電に比べて、CO2排出がほぼゼロの河川水力発電。  
地域にある再生可能資源を利用することで、地球温暖化防止に貢献しています。

またこの地域の住民は、森林を伐採し木材を燃料とした生活を営んでいましたが、当水力発電の開設によって、各家庭が電化され利便性があがるとともに、森林環境保護にも繋がっています。

- ・ 国際環境教育指導者育成事業  
...財団法人 国際環境技術移転研究センター
- ・ 地球温暖化防止イベントのカーボンニュートラル運営  
...有限責任中間法人 ロハスクラブ
- ・ 佐渡「トキの森」育成保全事業  
...特定非営利活動法人 環境リレーションズ研究所

平成21年度カーボンオフセット年賀寄附金申請及び配分状況について

申請		配分			
件数	金額	件数	金額	寄附金	マッチング寄附
20件	57,018万円	12件	15,141万円	7,511万円	7,630万円

配分決定事業別リスト

団体名	排出権取得・償却助成(万円)	地球温暖化防止活動概要	助成額(万円)
財団法人 北海道環境財団	881	二酸化炭素削減のための札幌圏バスマップ活用の公共交通利用促進	340
財団法人 横浜開港150周年協会	1,383	横浜開港150周年イベント、トークショウ「宇宙飛行士と地球を語る」展開	330
NPO法人 えがおつなげて	840	都市と農村交流型カーボンオフセットファーム	340
NPO法人 MORIMORIネットワーク	840	子供達が専門家と体験しながら作る森林ガイドブック	340
NPO法人 日本気候政策センター	1,383	途上国の貧困解決へ向けての植林プロジェクトのCDM事業化提言	300
有限責任中間法人 ロハスクラブ	1,886	ロハスデザイン大賞2009 ローカーボンスタイルプログラム	340
財団法人 日本環境協会	881	子供達向けの環境教育プログラム「樹木による二酸化炭素吸収」実施	340
NPO法人 Hydronet Energy	1,383	ある夏の夜、公共イルミネーションを消し、太陽光LEDライトを使うイベント開催し、そのライトをアフリカの子供達に贈り、カーボン排出削減	330
NPO法人 環境文明21	1,352	温暖化防止環境教材「ストップ、温暖化ゲーム」リニューアル	310
NPO法人 八ヶ岳ヒューマンエナジー	1,886	市民出資の太陽発電パネル設置によるエネルギー地産地消	340
NPO法人 森のライフスタイル研究所	540	原宿・表参道カフェレストランとのタイアップでカーボンオフセットウィーク実施	340
NPO法人 赤目の里山を育てる会	1,886	間伐材ペレット化のために伐採地で持込使用できる超小型ペレットライザーの実用化	340

株式会社ローソン

開始日	2008年3月31日 ~ 継続中
オフセットの分類	自己活動オフセット支援（参加されたお客様の排出量削減→日本国の削減） ～ローソン及び協力企業・団体の削減ではありません～
運動の内容	①ローソンポイントでお客様の排出したCO <sub>2</sub> をオフセット ②200kg、500kg、1トン単位でもオフセットできます ③協力企業・団体とのタイアップによるオフセット企画の実施 ④上記に基づく「償却移転完了」証明書の発行
自らの削減努力	①2012年までの削減目標を公表し試行排出量取引スキームにも参加 ②既存店舗への省エネ機器導入と省エネ店舗の開発を促進しています
お客様の削減努力推進	①ローソンホームページの環境家計簿でお客様ご自身の排出量把握を促進 ②チームマイナス6%に連動し削減手法を提示
使用したクレジット	京都メカニズムクレジット「CER」
無効化の方法	日本国政府の国別登録簿「償却口座」に移転→日本国の削減となります
情報公開	償却したCERの「クレジット創出事業名」と「クレジット識別番号」をローソンのホームページで個別企画毎に月次ですべて公開しています
実績	2008年4月～2009年4月で 8197トン进行償却（累計で約1240万人が参加）
その他	「eco japan cup 2008」で環境ビジネスアワードを受賞



LAWSON

## 自らの削減努力



2012年度までに  
**1店舗あたりの電力使用による  
CO<sub>2</sub>排出量を2006年度比10%削減します！**

外断熱工法、要冷空調一体型システム、調光照明システム、  
冷凍機、空調機、防露ヒーターを自動制御、ラインサインへの反射板、  
人感センサー、LED照明器具等の導入促進



環境マネジメントシステムを活用し、進捗を確認します



◆排出量の第三者認証を  
取得します

◆試行排出量取引に参加し  
目標を達成します

2008年3月31日スタート

## ① ポイント交換

1口=50ポイントで10kg - CO<sub>2</sub>オフセット

累計10口=100kgごとにオリジナル「CO<sub>2</sub>オフセット証明」画像を送信

累計50口=500kgで「オフセット証明書」と「ケータイバッグ」を送付



## ② Lopp iでのお申込み



現金でのカーボンオフセット3コースもご用意

◆200kg ; 1050円

◆500kg ; 2500円

◆1トン ; 4500円

商品番号

0836818

0835544

0834955

証明書のみ

証明書・ケータイバッグ付き

証明書・ケータイバッグ付き



## ③ 企業・団体との共同オフセット企画



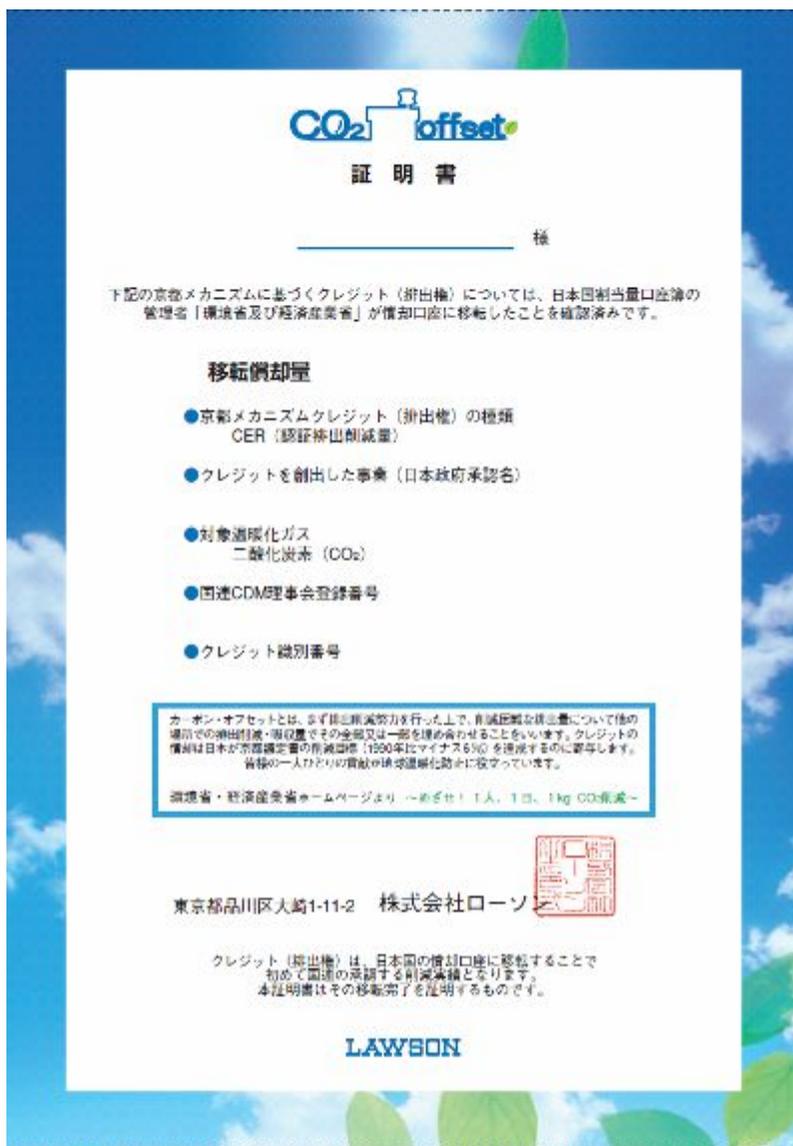
飲料1本で1kg、日用品1個で250gなどの物品販売企画

ATMなどのサービス利用にともなう各種企画



LAWSON

# 証明書の記載内容



## 移転償却量 1トン(1000kg-CO2)

- 京都メカニズムクレジット (排出権) の種類 CER (認証排出削減量)

- クレジットを創出した事業 (日本政府承認名)

アルゼンチン国パタゴニア地方における風力発電事業

- 対象温暖化ガス 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

- 国連CDM理事会登録番号

0130 (登録日:2005年12月29日)

- クレジット識別番号

AR-000-000-000-216-488

CO2オフセット  
の信頼性!

カーボン・オフセットとは、まず排出削減努力を行った上で、削減困難な排出量について他の場所での排出削減・吸収量でその全部又は一部を埋め合わせることをいいます。クレジットの償却は日本が京都議定書の削減目標 (1990年比マイナス6%) を達成するのに寄与します。皆様の一人ひとりの貢献が地球温暖化防止に役立っています。

環境省・経済産業省ホームページより ~めざせ! 1人、1日、1kg CO<sub>2</sub>削減~



LAWSON

# 実績と情報公開



2008年4月～2009年4月累計

【単位:トン】

ポイント交換・Loppi申し込み	1,053
CO2排出権付商品(飲料)	4,578
CO2排出権付商品(日用品)	1,300
ATM利用/その他キャンペーン	1,142
その他協賛等	124

累計 約1,240万人が参加 合計 8,197

移転償却実績はローソンのホームページ上で全てのクレジット識別番号を公開しています

## 「環境ビジネスアワード」を受賞



エコビジネスめざましコンテスト、

### eco japan cup 2008

“8600という多くの店舗で販売したことはすばらしい”と  
審査員の小池百合子衆院議員、東大の山本良一教授にとくにご評価いただきました。

コメント → <http://www.cocacola.co.jp/csr/nonde-eco/#/report/>

クレジットはすべてお客様の削減として日本国政府へ寄付しています。(ローソンや協力企業・団体の削減ではありません)